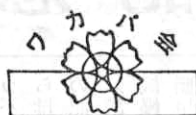
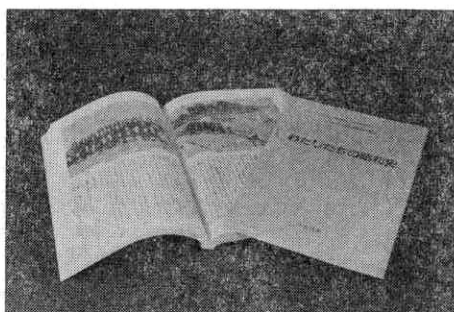




わ か ば



▶ 記念誌『わたしたちの昭和史』
▲ 記念総会で挨拶する若菜会長



目 次	
特集 1・60周年記念総会	2
特集 2・60周年記念誌	4
『わたしたちの昭和史』	
広がれワカバの輪	6
告 知 板	8
音 信	9
母校だより・旧職員近況	10
委員会・理事会等報告	11
企画委員会行事のお誘い	12
事務所だより・編集後記	
◇ 別刷 山荘のご案内	

第52回 同窓会総会の御案内

日時：平成元年 **5月21日(日)** PM 1:00~4:00

会場：母校音楽講堂

議題：昭和63年度事業報告／決算報告
平成元年度事業計画／予算案審議

会費：**1000**円

- ▶ 議事終了後、親睦パーティ及び福引大会を行います。軽井沢山荘宿泊券のほか、豪華な賞品を多数用意して、会員の皆様の御出席をお待ちしています。
- ▶ 新入会員の皆様へ
当日参加者に、もれなく『新入会員名簿』をプレゼント！
しかも、会費は不要です！ぜひ御出席下さい。
- ▶ 4月29日の総会はありません。



会員の皆さまへ

会長 若菜 允子

昨年は会員の皆さまそして母校の先生方のご協力を得て、ワカバ会創立六十周年記念事業を盛大に挙行することができました。

記念総会には一〇〇〇名余りの会員の皆さまが参加され、旧交を温め和やかに話し合いをしていただくことができました。また記念誌はワカバ会会員の眼を通してみた昭和史として新聞にもとりあげられ社会的にも高く評価されました。

これはひとえに皆さまのご協力の賜ものと感謝いたしております。

これからもより多くの会員の皆さまにワカバ会の運営に参加していただき、会員相互の一層の交流を目指して意義ある事業を展開してゆきたいと願っております。今後ともご協力ご支援賜りますようお願い申し上げます。

記念事業のご報告

実行委員長 小野 紘一

ワカバ会の六〇周年記念総会及び祝賀パーティーは、昭和六三年五月二二日母校の講堂及び音楽講堂で挙行されました。

総会の開始時刻は、正午の予定でしたが、午前一〇時頃から参加者の入場が始まり、一時頃までにはロビーや講堂に人が溢れんばかりで、来賓の先生方を始め合計一〇二三名の出席という、大盛況となりました。

記念総会

定期総会の議事が滞りなく終了した後祝賀会になりました。藤川侃二校長先生からのご祝辞、ワカバ会から母校への記念品の贈呈が行われました。

た。パーティーに移ってからは会員有志による山田流筆曲、琵琶、バンド、マリンバ等が演奏され会場はいやが上にも華麗な雰囲気になりました。

最後に福引が行われ和気霽々のうちに無事終了することができました。

なお、これらの行事の企画、実行にあたっては理事会の決議に基づき約二〇名の会員によって組織された記念事業実行委員の人達のご協力のあったことを、併せてご報告いたします。



六十周年

記念総会に出席して

9-4 大平 勝

昨年の四月頃、同級の田中優子さんから、ワカバ会に出席依頼の電話があった。考えてみれば卒業してから三〇年以上経つ。記念すべき六〇周年総会であり、同期生も多数出席するという。少々敷居の高い気もしたが、花崎照夫君と山本広三君の二人を誘って出席することにした。

五月二十二日の当日、久しぶりで母校に赴くためか緊張した気持ちで田町駅を降りた。

三田通りは以前に比べ狭くなった感じがする。昔走っていた三番の都電を想い出す。三田警察署はすでになく、高層ビルが出現する。

校門の受付では、若い同窓生達が見える。受付の周りでは、すでに幾つかの人垣ができ、そこから笑い声や楽しげな話し声が聞えてきた。旧校舎の薄暗くて狭いあの玄関とは違い、吹抜けの玄関ホールは明るく広い。先程の両君と母校の教諭となつてゐる鈴木美智子さん達と階下の弓道場へと足を向けた。近くの体育館からバスケット等の招待試合の歓声が聞える。途中で叔母の岡きくさんに会った。「同級生一人しか居ないのよ」と淋しげに言う。彼女は第六時代の一期生である。

弓道場では模範演技がちょうど行われるところであった。所狭しと多くの観客が静かに見守っている。「ギリッ、ギリッ」と矢の長さいっばいまで弓を引き分ける音が響く。弓道に全く心得のない自分であるが、その立居振舞に自然と厳肅な気持ちになる。そっとカメラを向ける。十期後輩になる母校

教諭の戸田雅子さんから写真係を仰せつかったのである。撮りながら、昔弓道部の顧問をされていた村上先生を思い出した。

十二時より始まる会計報告の総会には失礼して、同期生の集つてゐる三階の教室へ、つぎに行くことにした。わが同期会の会長である河合輝二君、その他十数人の面々がすでに集合していた。名前を



思い出すのになんと時間を要しながらも、なつかしい面影を何人か拝見した。夫々に夫々の人生を歩んできたことを感じる。

つづいて、一時から食堂で催されるパーティーに全員で押しかけた。テラスに設置されたテント内のテーブルを揃って囲む。校長先生の力強い挨拶のあと、ビールで乾盃。久しぶりで校歌をうたった。模擬店では沢山の料理が並べ

『最創造』の書

名誉会長 藤川 侃二

昨年七月、たまたま由緒のある額が見付かりました。

この額は、昭和二年と昭和六年の二度にわたり、英・米との協調外交を推進し、満州事変を引き起こした軍部と衝突して総辞職した当時の内閣総理大臣若槻禮次郎氏の揮毫によるものでした。この書の由来については定かではありませんが、昭和六年第四回卒業アルバムの中に講堂に掲げられていたものであることが判りました。

リベラルで国際的な雰囲気をもった学園、二十一世紀に向けて国際的な知識・感覚・態度を身につけさせることをねらいとしている本校の教育にとって、この書が見つかったことはたいへん意義のあることと喜んでおります。

早速、表装して校長室に掲げましたので、ご来校の節はぜひご覧下さるようお願いいたします。



特 集 1 60 周年

られ、味も格別であった。福引会では、実に沢山の景品が披露され、

（元ワカバ会講師）の六名。高校卒の四名は、戦後間もなくから四十九年まで岸辺従（9ウ）を講師としてワカバ会が行って居た筆曲講習会の出身者で、久しぶりに母校に響く筆の音に感激しつつ演奏しました。

記念総会の日

40-5 小林 克久

当日の放送担当といっても、ややこしい作業は、すべてプロである業者の方がやってくれたので、私は、大した仕事もせず、大方の人間が当日そうであったように、浮かれていた。そして、当日、集った人々の世代の幅の広さに圧倒

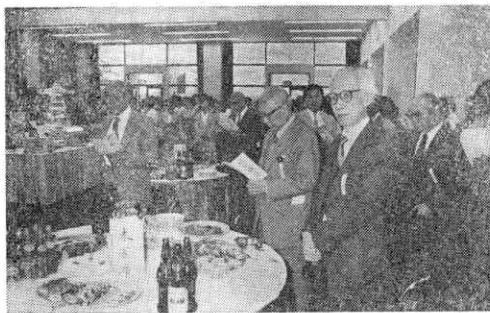
過した。終りに、これだけの会を企画準備された実行委員の皆さんに心から感謝して、私の出席記とする。

六十周年記念総会

アトラクションに参加して

5ア 佐々木 昭

記念総会アトラクションに山田流筆曲演奏で参加しました。曲目は「千鳥曲」「春の曲」「ひぐらし」の三曲。演奏者は、佐々木昭（5ア）伊狩久子（13-1）水木久美子（15-6）浜辺彰子（21-3）下越弘子（24-3）富安悦子



ワカバ会六十周年

記念総会に参加して

37-5 石井 典子

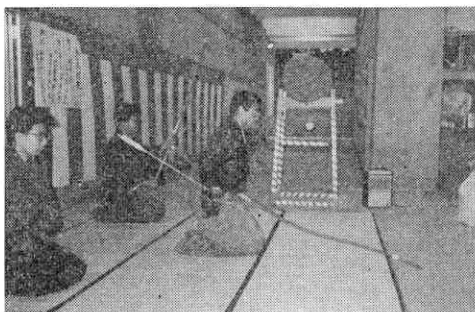
され、「三田高校という所は、実にとんでもない所だったんだ」と改めてわかった。普段は滅多に話す機会のない第六高女時代の遠い（こういう形容はしてはいけないのかもしれない）先輩に、いきなり論議されてしまった。裏話を挙げればキリが無いが、裏方である委員の皆さんも、忙しくはあっても苦しくはなかったと思う。私にとっては、そんな中での六十年目のお祭りであった。ただそれだけのようない気もする。

ワカバ会六十周年記念総会に、我が水泳部OB会は新卒生を含む総勢三十名が集まり、デモンストラクションを行いました。

第六高女時代の水泳部の方々に前に、バタフライ、背泳などの模範泳法と、水球の紅白試合を披露したのですが、当時の部員の方々は優秀な成績を収められていたとのことで、緊張の連続でした。しかし、見学していただいている間に当時のプールの様子や、部の雰囲気についてお話しして下さった、逆に私達が現在の練習内容を説明するなど、普段とは一味違った、OB同志の交流の場を持つこ

60周年記念総会決算報告

収 入	2,476,208
総 会 会 費	2,330,000
祝 金 等	146,208
支 出	8,800,449
パーティー費用	7,165,206
記念品母校綴帳	530,000
会 員 記 念 品	926,000
保険料、雑費	179,243



とができました。このような企画は始めてのこと、計画どおりにいくか不安がありました。成功し、OB一同嬉しく思っています。

還暦総会に参加して

36-2 友吉明弘

『琵琶だけ持ってきて待機して場つなぎで悪いけど演奏してくれない。』と、連絡を受けて当日のぞみました。自分は、家庭環境の中で邦楽に親しみ、大学で中世芸能を勉強のかたわら薩摩琵琶を三年前より演奏している若輩です。今後も、古典の琵琶を勉強のかたわら若い人々への普及の為、努力をしていきたいと思うこのごろです。人生の大先輩の方々の前での演奏はいつもよりあがり気味でした。ワカバ会が還暦を迎えた総会にこのような形で多くの先輩の前で演奏できましたことは小生のこれからの一つのはげみであり、よい経験になりました。



司会の西田さん

総会プログラム

昭和63年5月22日
於 三田高等学校

模範演技・試合

各クラブ卒業生有志
バスケットボール
バトミントン
卓球 弓道 水泳

第51回総会

司会・平山孔嗣

開会のことば

昭和62年度事業報告・

決算報告

昭和63年度事業計画・

予算案

評議員改選

その他

記念式典・パーティー

司会・西田百合子

あいさつ

校歌斉唱

伴奏・寺本結花

来賓祝辞

記念品贈呈

新旧教職員紹介

乾杯

箏曲・バンド・マリン

パ・琵琶演奏

卒業生有志

福引 司会・西田百合子

閉会 閉会のことば

特集 2

60周年記念誌

『わたしたちの昭和史』

記念誌編集

編集委員長

藤井 康栄

昭和の終りに照準を合せたように六十周年記念誌『わたしたちの昭和史』を上梓できたことは、まことに僥倖でした。巷にあふれ出た数多の昭和史関連の出版物を見るにつけ、わがワカバ会の一馬身リードに気をよくしております。

二年にわたる編集作業中には、突然のご連絡やご相談など、会員のみなさまには多大のご迷惑をおかけしたと思いますが、御蔭様でどうやら予定通りの日程をこなすことができました。関係各位にあらためて厚く御礼申し上げます。

今回の記念誌は、同時代史についてのささやかな試みにすぎません。自分たちの時代を検証しなおすために、どこからでもアプロ

をつくってみたものです。

発行後に、たくさんの方からご感想をお寄せいただいたのは、とても嬉しいことでした。いろいろな場所では話はずみ、日常の中に埋没している様々の貴重な体験を掘り起すことは、この記念誌の重要な企画意図でもあったからです。「まだ沸々と云いたいことが湧いてきそう不思議な本だ」という感想を外部から寄せられた方がありました。わたしたちの試みを深く読んでいただいたことを感謝しております。

実は、編集作業をしながら、こうしたことを考えないわけではありませんでした。限られた枠の中では、表現できることもおのずから限界があります。それで、かなり早くから、編集委員会解散後は「会報」にテーマを引継いでもらいたいと希望を述べておりました。

私はどうやら責務を果し、今は気楽な一会員に戻っているのですが、その立場であらためてそのことを考えています。ワカバ会もこの際もう少しエネルギーを持続す



ることを考えてもいいのではないだろうか。

今年は元号も変わり、世間では当分の間、昭和史再考、昭和史再検討の動きが続くと思うのです。マスコミの情報操作とか情報洪水という批判のあることも知っていますが、私自身は情報は多ければ多いほど良いと思っています。言論の自由さえ保障されれば、あとは自分の眼力を信じて見極めるしかないのですから。

それにしても、一月七日〜八日の新聞・テレビにはみなさんはどう反応なさったでしょうか。レンタルビデオ屋が繁昌して話題となりましたが、一番人気は「ラストエンペラー」だというオチまでついているのには驚きました。しかし、こういう若者の動向もたしかに世相を適確に表現していることなのでしょ。

さて、『わたしたちの昭和史』ですが、喜ばしいことに、いまのところ内容のオリジナリティは外部からかなり評価していただいているようです。でも、私にはまだまだ発掘しなければならぬものがあるような気がしてなりません。

例えば、尾形さんの日記。あれは良かった、と云って下さる方が多いのですが、記念誌にも書いた



ように、尾形さんははじめ固辞されていたのです。無理にお願いしてよかったと満足していますが、まだまだこのような宝物は多いと思います。

座談会にしても、私なりの時期区分で四本柱を建てましたが、これらの谷間にあたる世代の方がたにも話して置きたいことは山とあるでしょう。また、同じ時期のものを別メンバーでやってみたらどうなるか?—などなど、私の興味はつきないので、この際多くの方がたに書いたり喋ったりしておいていただきたいと思うのです。

もし、会員の反応があれば、広報委員会なり、理事会なりが柔軟に対応し、活力ある会の運営を考えて下さることでしょう。私はひそかにそうなることを願っているのです。(一九八九・一・二五記)

『わたしたちの昭和史』は、

数多くの会員から感想、意見などが寄せられ、また諸新聞でとり上げられて社会的にも大きな反響がありました。その一部を抜粋して紹介します

読売新聞 昭63・6・4

同窓会員約一万七千人の記憶を手がかりに二年以上かけて作成したこの記念誌は、座談会、インタビュー、アンケートなどによって構成され、昭和の一つの教育史が浮き彫りにされている。(略)三田高校卒業生の目を通して昭和の教育の変遷の記録誌にもなっている。

朝日新聞 昭63・6・5

同窓会ワカバ会ができて六十周年。で、記念誌をつくった。が、それらしきを見事なほどに振り払った一冊である。戦前。戦中。戦後の共学スタート時代。そして団塊の世代。世代別の四つのリレー座談会が、それぞれに「わたらの時代」を証言する。

毎日新聞 昭63・6・6

記念誌は卒業生のインタビューや座談会で構成。思い出をいきいきと語っている。

寄せられたお葉書から、一部を抜粋させて頂きました。

9イ 厚東 桜子

丸山校長の教育方針の中で、あの時代の勇氣ある決断に驚くと同時に、戦後の教育がどのようなものであったかと分析してみることが、今年の最大の課題でした。

12エ 小泉 文子

幼稚園長として幼児教育の場で働いておりましたが、東京女高師で受けました師範教育に遙かに優れた第六高女時代の合理精神が自然に出てくるのに気付かれます。

14エ いぬいとみこ

丸山先生のことになつかしくて困りました。十四回というのは、ちょうど戦中派より少し前で、紀元2600年を学校では一応祝いながら、東洋英和で開かれていたバイブルクラスに、私たちは出席していました。

14オ 山田 和

挿入された写真の数々は貴重なものばかり。戦災で卒業写真以外はすべて焼失した私にとりましては、思いがけない貴重な品となりました。

16ア 鈴木 文子

リレー座談会が、高校十九回で終わっているのが残念でした。十九回位までは、丸山先生時代の教育が根にあったと思うのです。古

い先生や卒業生の先生方がおられましたから。でも今のもっと若い卒業生はどうなのかが知りたかったと思います。

17ウ 中村 明子

皆様が情にのみ溺れず、確かな目で昭和史の中のわが第六高女の歴史をつかんでいらっしゃることに感動致しました。

19エ 荻木 万里

戦後ちりぢりになった同窓生の名簿づくりに情熱をかたむけ、現在の基礎をつくられた故篠塚光様の功績についても、ふれていただきましたかと思いました。

20イ 横山 寿恵

四年生の八月十五日に戦争が終わってから、九月に再び学校に戻ったのですが、それから卒業迄の二学期間の勉強は私にとって忘れられない程真剣なものだったと思います。

8ー4 和田寿美礼

戦後入学した者としては、新制度になってからの校長先生は、ま

たそれなりにご苦労があまりに多かったと思うのです。自分が在校した時の校長先生のお話が全くないのは、少し寂しい気がしました。

12ー3 大泉 紘一

政治・経済・文化の各面で大変革のあった六十年間をある側面から見た、大変有意義な文献だと思います。小此木先生、高橋登志先生、高城教頭といった大先輩から、若い北村君、花蔭君まで幅広く登場させたご努力に敬服します。

31ー6 佐藤 正見

想出の中で物事は象徴・強化されるか、忘却されるか、人の限界というものでしょうか。編集・出版御苦労様でした。

35ー4 三橋 真弓

新聞記事で知って、興味を持ちましたが、この記念誌を読んであらためて三田を知ったような気がします。私にとって大切な三年間が三田にあったように、六十年分の青春が確かにあったのだということを実感しました。

274頁3段7行 60周年記念

↓50周年記念

296頁1段(資料提供・協力)

10頁1段(倉田氏肩書)
小石川高校↓小松川高校
37頁12行 豊玉郡↓豊多摩郡
61頁3段20行 医学博士で
↓理学博士で

記念誌編集委員会

正誤表

『わたしたちの昭和史』

事業運営委員会主催

- 第 3 回 加藤恭二子先生を囲むつとい
昭和63年 7 月 26 日 ~ 27 日
第 5 回 親睦ゴルフコンペ
昭和63年 7 月 23 日 ~ 24 日
第 1 回 ヨガ教室
昭和63年 7 月 24 日 ~ 25 日

ひろがれ!

昭和59年の第1回コンペ以来、昨年までできるかぎり参加させていたでいます。プリー日もだいたい7月の第4土曜日と決まっていますので、毎年その日がくるのを

ゴルフ・コンペに

参加して

29-2 野田 昌弘

「一日ヨガ教室」に

参加して

12エ 松永佐智子

昨年の夏ワカバ山荘で「ヨガ」の講習会があり、早速参加してみました。今更出来るかしらという不安がありました。千葉先生

(元宝塚スター) が親切に上手に指導して下さいるので、どうにかこなすことが出来ました。まず「ダイヤモンドポーズ」という正座をして、腰と背筋をのばし、手は、「印」に結び、膝の上にのせ、軽く目をとじ、静かに呼吸を整える。(正座出来ない人は「アルダパドマアサナ」というアグラの様な型をとる) 次に呼吸法を教えて頂いて、徐々に軽い初級のポーズを習いました。上向に寝て完全に体を弛緩出来るか、ネコのポーズで脊椎頸椎の柔軟度を見、体を前屈、後方へ反り、横向きでねじり等をする。足を組んで足首を曲げたり、指を開いたり、筋を叩いたりする等、普段使わない筋肉を使うのでとても気持ちよく、体のびのびして、すっきりした感じでした。然し、アーチのポーズの様に腰が持たず、背中の下にやっと手がある位しか曲げられないのもありました。でも前に少し経験のある方は、見事にアーチを作っていました。参加者が同年輩の方が多く、勿論若い方も気がねなく、和気あいあいと練習する事が出来ました。何回も繰返して一人で出来る様になるとよいと思いましたが、二回しか出来ず残念でした。来年も是非参加したいと思っています。



企画委員会主催

- 第 3 回 自然と親しむ会
昭和63年 8 月 22 日 ~ 24 日
第 2 回 史蹟探訪の会
昭和63年 11 月 12 日 ~ 14 日

ワカバのわ

「晩夏の尾瀬探訪」に

参加して

3-4 浦田 理子

尾瀬沼に着いたのは、三時頃であつた。

沼山峠に入った途端、雨に見まわれ、湿原の木道は壊れ歩きにくかったが、道中の可憐な花や、明るい木々の緑に救われた。沼は、小雨に煙り、雲がたれ込め夕闇がせまっていた。皆、かなり服を濡らして宿についた。

翌日は、雨も上がり「見晴」に向け出発。沼を左に美しい景色を見ながら歩く。樺の白い幹が目立ち、紅葉の季節には、まだ間があるのに、漆が僅かばかり色づいている。

お昼近くに湿原に着く。小屋の庇には鳥の巣がびっしり並び、イワ燕であろうか、鳥が絶えず出入りしている。午後、友人と二人で写生に行くと、水菊が咲きみだれ、蜂が飛び交い、恐いので早々に引き上げた。

三日目は燧ヶ岳を背にして、山の鼻へと向う。ホロムイ草、ヒツジ草の純白の花など、沢山の種類の花々の中を歩く。空は雲が薄く、かき、かつと照りつけるわけでもなく、湿原の風がひんやりと心



地良い。行き交う人も稀にしかなく、雲雀が鳴き、のどかで、ダケカンバや白樺を遠くに見ながら歩く。

山の鼻からは、清流流いに鳩待峠へと登っていった。

ワカバ会の方達と、思いがけず三十年振りに山歩きをして、いい旅であつた。

史蹟探訪

「晩秋の吉備路」

十五オ 三矢 迪子

山も野ものびやかに晴れ もみち葉の赤く映えたり吉備路の旅は

二泊三日。巡る先々の神仏に守られてか、暖かく風も無し、それぞれに趣きのある古社寺、それを廻る、鮮やかな紅葉、松の緑、我が日本は素晴らしい国である。真赤に紅葉しなかった櫟の木は白壁にまぶしい孔子廟のある閑谷学校、可愛い七五三の子達の詣る吉備津彦神社、それに反して、秀吉の水攻の高松城址では、戦の渦に巻きこまれた哀れな女、子供に思いをはせ、沈む心に、バツと光のさしたように、岡の上に立つ備中国分寺の塔。静かな夕暮の近づく宝福寺の紅葉は又、一入身にしみ入るようであつた。此の度、私が楽しみにしていた鶴林寺、女子美の時に買った天平彫刻と云う本の中で岡寺の彌勒菩薩と並ぶ聖観音、長い間の悲願とも云うべき望は昨秋、博物館の金銅仏展で果たされた。一年ぶりに又、計らずもお目にかかれるとは何と云う喜びであろう。聖徳太子の開かれたと云う古い歴史のある寺らしく、播

加藤恭二子先生を

囲むつとい

8ア 石川美佐子

六十三年度わかば会誌で山荘セミナー、歌のつどいの文を読み進んでゆくうちに、希望がだんだんふくらんで参りました。が、学校行事に出た事がないところから来る不安が出てまいりました。もう一つ、山荘にはピアノが無いのだという事も疑問でしたけれど、私の心は参加の方にかたむきました。どんな事があるかと我一人行かんと意気込みで早速申込をいたしました。横川駅では釜めし弁当を忘れずに求め、軽井沢駅で下車するやいなや、二つの不安はたちどころに消え去りました。幹事の方の心細い気くばり、ご一緒の上は第一回卒の方から下級生の方々も、同窓という事は目には見えないパイプで心をつなぎ合っている事がわかりました。山荘に着

告知板

★いぬい とみこ 14エ

『白鳥のふたごものがたり』

(1~3巻) 理論社刊

一昨年「路傍の石文学賞」を頂きました。舞台はシベリアと最近湿原の保護で有名になった北海道釧路の達古武沼です。自然を愛する10代の方、お読み下さい。

★宮本 千寿子 高1-1

昭和18年入学の宮崎玲子さんが人間の暮らしに始まる食空間のあり方をグローバルに見て、各地域の現代までを取上げて、出版。日本人に適した台所を考える源流です。

『世界の台所博物』柏書房

問合は二六〇—三六五三宮崎玲子

★春名殿子 (入江曜子) 高5-1

R・F・ジョンストン著『紫禁城の黄昏』入江曜子・春名徹共訳
2月16日に岩波文庫から発売されました。ラストエンペラーの英語教師の回想録です。

『我が名はエリザベス』

高5-1春名殿子 (加藤・ペンネーム入江曜子) さんが、映画にもなったラストエンペラー満州国皇帝溥儀の妻の生涯を小説に書き、筑摩書房より出版され好評です。ぜひ御一読下さい。(高5大木)

★杉本 貴久子 16オ

16オのクラス会を中房温泉・軽井沢山荘各一泊で予定して居ます
9月5日中房温泉、6日軽井沢山荘です。ご参加下さい。連絡先は山田 重子 03-四六七一五二五七
杉本貴久子 03-四四五-五七八四

★大木 安孝子 高5-6

高5回生の集いとして「珊瑚の会」(会員約百名)を二年に一度開催し、毎回40名位が出席します
ご希望の方は幹事1組折原、2組八島、3組大竹、4組川上、5組湯原、7組安倍、6組大木 (03-八五一八九五五)へご連絡下さい。
次回は平成2年4・5月頃。

★大塩 徳子 高8-4

町田市つくし野と近郊の会員が年一〜二回集まっており、昨秋は第六7ウ逸見貞子様の勲五等瑞宝章受章を祝し第六1〜高18迄16名が集まりました。更に年代を越えた輪を拡げたく、ご連絡待ちます。
〇四二七-九五-六四八四 大塩

★依田 菜穂子 高27-7

教員志望だった私が信州で、自信と誇りとまごころを持って本物の味の果物づくりに励んでいます。

完熟巨峰は自信作です。ご照会あればパンフレットお送りします。問合は〇二六二-四五一七八四依田農園です。

★岸辺 從 (藤井千代賀) 9ウ

山田流箏曲演奏会
花橋会 元年5月5日 AM 10~
PM 8 第一生命ホール 無料

藤の会 元年12月16日 PM 5時30分
日刊工業ホール 千円
同窓生多数出演、ご来聴下さい。
問合は03-四六七一三六五三岸辺

★石井 好子 13イ

7月はバリ祭コンサート。シャソン歌手が沢山出演し、私も歌います。ぜひいらして下さい。
7月6日名古屋、7日神戸、9日大阪、13日〜15日東京で公演します。問合は03-五七二-〇三五五

石井好子事務所でお受けします。
★加藤 恭三子 旧職員
「第18回 加藤恭三子
ソプラノリサイタル」
一九八九年(平成元年)十一月三十日(木)こまばエミナースにて。午後七時開演です。

問合は03-三三-〇七八七

加藤恭三子です。

★川上 善枝 高5-4

小海智子さん(高4)は昨年ジャンソン歌手生活30年を記念して読売ホールでコンサートを開催。素晴らしい会でした。今年も「銀座里」や新橋「アダマス」(第1金曜)でライブ活動をなさいます。お近くまでいらした方はどうぞ。

★中島 久 高7-1

日中友好文化交流バレエ合同公演
「祝福」(日本初演)他合作上演
8月11・12日 芝郵便貯金ホール

毎年中国より舞踊家を招聘しての合同公演、四回目となりました。
ワカバ会員は割引に致します。
問合は中島久・卯塾賀寿江バレエ団 03-七二二-四七四八

★柿坪 信子(中当ユミ) 高15-2

中当ユミ&池田孝江コンサート
6月9日(金) PM 7時開演
渋谷スタジオオパル COFFEE HOUSE
。中当ユミカンツォーネコンサート
10月予定

問合は〇四七一-七三二-〇一〇
柿坪信子へお願いします。
★山寺 圭子 高17-1

山寺圭子「うた・唄・歌」

ジャンルにとらわれない、いろいろのうたをアットホームな雰囲気です。
6月9日(金) 9月22日(金)
於原宿アコスタジオ 問合先シンド
音楽企画 03-四六五-六一一五

★広瀬 公乃 高37-6

青年劇場第48回公演「総裁公館」
作・石岡三郎 演出・千田是也
9月8・12日朝日生命ホール(新宿) 14・15日前進座劇場(吉祥寺)

16・20日は本多劇場(下北沢)
公演案内等お送りします。問合先
青年劇場 03三五二-七〇五四広瀬

60周年記念誌

『わたしたちの昭和史』

内容の紹介

リレー座談会・われらの時代
大正デモクラシーとともに
戦時下の学校
学制改革の波にもまれて
高度成長期の青春群像

インタビュー&講演
日記・激動期を生きた
昭和史アンケート ほか

★豊住 美枝 (千葉支部長) 11オ

ワカバ会千葉支部は会員百余名初夏に催される支部会には25名位が出席し、第六から三田までの方が親睦を深めています。特に三田の若い皆様に参加して頂きたく本年は6月に例会をしますのでは非ご連絡下さい。〇四七三-三四一三〇三二豊住

今回委員の皆さまの楽しい情報を交換する場として新しく「告知板」というコーナーを設けました。どうぞお気軽にご利用ください。

内容が政治宗教などに拘かわるものは掲載出来ませんので、ご了承ください。

原稿は手紙でワカバ会事務所宛にお送り下さい。

音 信

荒井先生と

20 年ぶりの山行

22-5 片岡 尚美

昨年行われました 60 周年記念総会で、在学中ワンダーフォーゲル部の顧問をして下さった荒井淳雄先生に久しぶりにお会いすることができました。その時に、先生から山頂での家族連れ O B 会のご提案があり、10 月 9 日奥多摩山行が実施されました。共に山を歩き、同じテントに眠った友も、連絡がとれる方は限られていました。また 2 人目、3 人目のおめでたで、残念ながら不参加という楽しみなお返事もいただき、参加者はわずかでしたが、なつかしい奥多摩へむけ、新宿駅を出発いたしました。ずいぶん分きれいになった御嶽駅であり、そばを食べて帰ろうという人たちが励まして、高水三山、惣岳山に登りました。山は以前と変わらず、美しい木々とさわやかな空気で私たちをむかえてくれ、約 3 時間の山歩きを楽しみました。20 年ぶりに先生と友と、そして家族をも交えて山を楽しむことができ、

感激の一日でした。

荒井先生、ご同伴下さった奥さま、ありがとうございます。これからも、オセンチ山で鍛えた頃と変らぬ気持ちで山登りを続けたいと思っています。



母校合宿応援

母校三田の部活に若いワカバ会の会員はいろいろと貢献している。平素の放課後の部活の指導と夏の合宿の手伝いである。今年も各地で行なわれた合宿に以下の人が活躍した。

☆硬式テニス 38 回吉田祐治・荒木恒成、40 回広瀬抄恵子、藤本千代子

☆バドミントン 37 回西村和子、

38 回末吉武嘉

☆サッカー 37 回内田直樹、斉藤

雄一郎

☆バスケット 37 回堀込美奈子、

39 回稲垣誠、木田寿人、高林芳久

☆卓球 40 回森田洋介

☆バレー 38 回村田孝幸、渡部高

裕、39 回池田絵里

☆軟式テニス 39 回横山統子、花

嶋えりか

☆弓道 40 回荻島英二、富岡克哉

☆剣道 37 回上杉宜也

☆ラグビー 39 回樋口昌二

☆アメフト 37 回布施知也、島村

誠一郎、酒井宏典

☆生物 40 回斎藤央嗣

☆吹奏楽 38 回豊田巨、39 回永石

宇司、40 回江口美帆

☆フォークソング 40 回前川健

一、島麻子

☆体操 39 回鈴木春

☆陸上 40 回大村芳明

☆水泳 34 回鈴木紅、39 回平山慎

一、40 回石井桂子

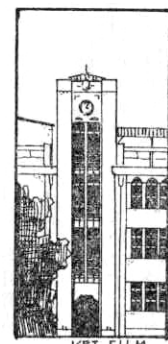
☆管弦楽 37 回重原愛、岡部周子

☆ワンダーフォーゲル 40 回白石

勝大

追 悼

謹んでご冥福を
お祈りいたします



所属	没年月
實方亀壽 (第八代校長)	63.4
高柳一二 (旧職員)	1.1
小柳芳枝 (旧職員)	63.2
小杉タマ (旧職員)	62.4
澁澤穂子 (加藤)	63.10
亀井鉄子 (菅野)	1C
小川嘉子 (平島)	62.6
高木久子 (上島)	63.6
納村よし子 (内山)	2B
斎藤梅子	2C
鳴原竹子 (宮崎)	2C
八坂貴美 (川畑)	2C
伊丹万都子 (川越)	4ウ
大畑八重子 (長)	5オ
荒木キミ子 (高木)	6オ
鍵和田豊子 (斎藤)	7ア
中村康子 (田島)	7エ
池田妙子 (西沢)	7オ
東条トミ (平野)	8イ
川島文子 (鈴木)	11イ
遠山房子 (工藤)	12ア
広瀬節子 (永田)	13ウ
向山泰江 (岩村)	14エ
長倉保子 (直井)	14オ
玉置富美子 (松下)	15エ

第八代校長

實方亀壽先生略歴紹介

實方先生は明治四十三年六月に北海道で誕生、昭和三年から網走町北浜尋常小学校で代用教員を勤める。その後、東京高等師範、東京文理科大学を卒業、東京府立第六中学校、杉並高等女学校、八王子市立第五中学校、武蔵野市立武蔵野第三中学校を歴任、東京都教育委員会を経て、都立三高高等学校長を、昭和四十二年から五年間勤める。その後、東京成徳短期大学、トキワ松学園にも勤務。長年に亘り教育の仕事に携わった。

三津田ユリ (重松)	15エ	63.2
湯浅寿美子 (山下)	18イ	63.1
宮沢和子	19ア	61.1
河上英子	22エ	1.1
安藤みどり (伊原)	3-6	63.1
安部法子	3-7	62.12
古橋立江 (大須賀)	4-2	59.12
佐久間延雄	5-2	62.1
緒方昭子	6-7	63.3
江沢好利	9-6	61.6
大野勝子 (山崎)	11-1	63.6
村上宏子 (佐雄)	13-6	63.11
久慈寿子	16-3	62.12
今井民子 (大和)	17-1	62.7

母校だより

今母校は？ 一学年八学級、男女ほぼ半数ずつ。男子は黒のブレザーにズボン。女子は紺のブレザーに箱ヒダのスカート。メタルボタンにエンジのネクタイ。各学年に海外帰国子女が約二十人。海外に留学する者も多いと一学年二十人に及ぶ。時には金髪の留学生も来る。お祭り大好きで、体育祭、白珠祭には大活躍。卒業後の進路は大半が進学。だが本命へたどり着くのに回り道をする者もいる。

昨年三月に、同窓会六十周年の記念品として母校音楽講堂に緞帳一式が贈呈され、真新しい幕の前で第四十回卒業式が行われた。

五月末の母校PTA総会の講演会には、ここ数年同窓会が紹介したワカバ会会員が話をする。今年度は10アの猿橋勝子氏で四十年間の研究生活を振り返り、女性科学者として平和の大切さを訴えられた。(三田 教員19-1 戸田)

△教務部より▽

大学生の本当に先生になりたい方で母校で教育実習を希望するワカバ会会員は、なるべく早く、教科、教務の先生が担任だった先生にご相談下さい。

旧職員近況

昭和五十九年度から昭和六十二年度の間に母校を転退職なさった先生方の近況を伺いました。

数学 尾勝宏光

現在・都立竹早高校
三田高校を離れ三年が経ちましたが、卒業生が成人し、いろいろな機会に呼んでくれますので、三田高校を去った気はしません。教科以外に野球とゴルフを趣味に元気でやっております。

理科 川崎 毅

現在・区立墨田中学校
中学校へ異動して五年がたちました。最近、三田高卒の、若いすてきな先生達に会うことがあります。皆、職場で活躍しています。

事務 佐野寛一

フレックスタイムで新聞・雑誌広告の仕事に入って、三年たちます。営業、文案作成、レイアウト等ですが、脳の活性化に良いようです。

家庭 立山 香

現在・都立町田高校
雪化粧をした丹沢の山々を望みながら、町高で家政科一年の担任をしています。仕事に子育てに毎日フル回転です。

国語 豊田勝弘

現在・都立白鷗高校
白鷗に移って二年目を終え、三田先生と仲よく勤めています。昨年百周年を済ませ、今年は校舎もできる予定。十年前を思い出します。

数学 英 勇

現在・都立青山高校
学窓の外は神宮の杜から若人の歓声を耳にしながら、白衣に身をつつみ、白と黄のチョークを手に今日も数式を書きつけています。

英語 山本敏子

大塚にある筑波大学附属高校に勤務しています。三田を懐かしみながらも、三田を去ってはや四年の歳月が流れてしまいました。目下、三年生の担任です。

地理 天井勝海

都立白鷗高校(台東区)に勤務しております。三田を離れてから毎年ワカバ会の総会の日を楽しみにしております。

地理 天井勝海

現在・江東区教育委員会指導室
三田高校で指導いただいたことを生かしつつ、新しい職場で頑張っております。本区にも、三田の卒業生が何人も教壇に立たれており、大変強い気が致しております。

昭和63年4月の教職員のご異動

＜ご勇退ご転出された先生方＞

＜ご転入された先生方＞

教科	氏名	転出先	氏名	前任校
国語	芦村 紋子	稲城高校	川名 大	目黒高校
	土屋 裕	ご勇退	佐々木和子	白鷗高校
社会	斉藤源三郎	国際高校	佐藤 嘉修	赤羽商業高校
			西山 昭宣	四谷商業高校
保健体育	吉川 幸栄	芝商業高校	滝口 厚子	南葛飾高校
英語	藤原 宏之	筑波大付属高校	太田 志保	新任
	増田 茂	東洋女子短大	勝又 庸夫	田園調布高校
家庭	森本 静子	秋田大	橋本 勝	蒲田高校
	高橋 芳子	ご勇退	亀井 佑子	豊島高校
理科助手	林 靖久	北高校	谷岡 襄一	教育庁
主査	園部 玲子	港養護学校	岡田 智子	主税局
主事	井村 かよ	ご勇退		
AVL				

英語 前田忠造

現在・都立上野忍岡高校・教頭
定時制に勤めて三年目を迎えます。就寝が毎日午前二時頃という生活にも慣れました。健康に留意することの必要性をしみじみと感じています。

物理 大角 孝

粗大ゴミにならず、元気で好きな家造りに励んでいます。

校長 古松 彰

十文字学園の中・高校長として元気にやっています。

「三田の良識」が、教育の規範となることを信じています。

物理 横田憲治

現在・都立駒場高校
三田高校から転動して、はや三年。ずっと生徒部に所属しています。生徒は比較的素直です。

少年の日から夢のまま眠っていた天文学、パソコンによる計算や画像処理が可能になって、三五年ぶりに目覚めました。まさに隔世の感です。

保健体育 荒井正賢

都、教育庁体育課に勤務。都の学校体育行政に拘わる仕事に頑張っております。体育活動に起因する事故防止も大きな課題です。

委員会報告

総務委員会

本委員会は、五月二十二日の創立六十周年記念総会を盛会に開催かつ、無事に終了させるよう、他の委員会ともども全力をつくして活動いたしました。

委員 高橋 登志 (1E)

小野 紘一 (8-3)

御子柴大介 (26-4)

企画委員会

六十三年度は、先ず六十周年記念総会の開催に向け全力を尽すことから始まりました。幸い同窓生皆様のご協力のもとに、盛大な総会を開くことが出来まして、心から嬉しく感謝して居ります。

企画としては、もう三回目定着した感のある「自然と親しむ会」二回目の「史蹟探訪の会」共に新旧幅広い層の会員のご参加を得て、和気霽々のうちに実施することが出来ました。今年度も次頁の通り実施しますので、奮ってご参加下さい。

委員 佐々木 昭 (5A)

滝本阿弥子 (13イ)

事業運営委員会

中村左都子 (7-2)

平山 孔嗣 (29-2)

軽井沢山荘および鶴の木の駐車場 (旧農園跡地・現多摩川グラウンド隣) の運営を行っています。

駐車場は昭和六十三年度に改修整備し、丸山先生の記念碑を駐車場正面に移転しました。現在二十七台の車が入っています。

軽井沢山荘の利用状況は七月十五日から九月二十四日まで開荘、大人一〇五六名、小人一五二名、幼児四名の利用者がありました。

クラス会、同期会、ゴルフコンペ、山荘セミナーなどの企画があり出席者には大変御好評を受けました。

委員 山口謙一郎 (8-1)

中垣 俊二 (8-2)

杉本貴久子 (16オ)

齊藤 節子 (7-3)

広報委員会

今年は委員会のメンバーが一部交替しました。全員で力をあわせて興味をもって読んでいただける会報「わかば」を会員のみなさまにお届けできるよう努力しております。

会報「わかば」は全会員に送られるもので、同窓会の活動、母校

の近況、会員の消息を伝え、また事務所を中心に会員の交流をはかる大切な機関です。会員のみなさまの活動状況、同期会、クラス会の呼びかけ、報告等お寄せください。また会報の編集をお手伝いいただける方、お申し出ください。

委員 小川しげみ (7-7)

小針 淳 (40-3)

柳沢 孝子 (22-2)

戸田 雅子 (19-1)

笠原 俊也 (15-4)

会計委員会

会計委員会は、ワカバ会の貴重な財産を、管理運用し、会の活動が円滑に遂行される様、財政的側面から、バックアップするのが、主な業務であり、現在、会長以下四名のスタッフが担当して居ります。メンバーは次の通りです。

若菜会長 (5-4)

松永佐智子 (12エ)

竹内 和世 (5-4)

玉置 修次 (5-4)

平山 孔嗣 (29-2)

常日頃より、維持会費につきまして、格別の御協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。皆様から頂く年二千円の維持会費がワカバ会を、より積極的に運営する原動力となっており、今後共、御協力の程、御願い申し上げます。

理事会等報告

4月理事会 出席10名

・総会・記念誌・新会計方式に基づく決算の説明

5月理事会 出席9名

・予算・決算・記念総会の準備について

評議委員会 (14日) 出席

53名 (委任状を含む)

60周年記念総会 (22日)

出席数 一〇二三名

総会のあと親睦会食・福引・演奏等。

6月理事会 (60周年記念事業委員会合同) 35名

・記念事業反省会と運営委員会 (山荘修理・駐車場整備について検討)

7月理事会 出席9名

・会計委員会報告・運営委員会 (前月に続き審議)

9月理事会 出席9名

・会計委員会・運営委員会報告・企画委員会報告

・広報委員会について

12月理事会 出席8名

・広報委員会報告・運営委員会報告・会計委員会報告・企画委員会報告・次年度総会について・奨

学金について。

2月理事会 出席12名・編集委員

3名も出席、会報について報告・

運営委員会報告・会計委員会報告

3月理事会 (22日)

支部連絡先

札幌	5エ	白居 和子	〒064 札幌市中央区南17条西12丁目	☎011-561-8810
東北	7ウ	寺島 辰代	〒981-04 宮城県桃生郡鳴瀬野蒜 字北赤崎32-7	☎02258-8-2028
浦和	18.4オ	中村 泰子	〒336 浦和市前地3-5-12	☎048-885-7476
千葉	11オ	豊住 美枝	〒272 市川市中山4-7-12	☎0473-34-3032
湘南	7ア	永井喜代子	〒251 藤沢市鵠沼海岸2-8-26	☎0466-36-7706
静岡	18.4イ	田中 和子	〒420 静岡市5番町20	☎0542-52-8831
名古屋	15イ	小林れい子	〒446 安城市池浦町池西206	☎0566-76-6819
関西	16ア	松井 好	〒631 奈良市西大寺北町1-6-22	☎0742-44-0846
京都	1D	米田 道子	〒651 京都市右京区西院東淳和院町53	☎075-311-2480
福岡	2E	富田 保子	〒812 福岡市東区貝塚貝塚団地5-45	☎092-641-0381
大分	高4	工藤 延子	〒870-02 大分市政所473	☎0975-92-0480

あなたも参加しませんか！

—企画委員会主催—

第四回 自然と親しむ会

初夏の水芭蕉に始まった「自然と親しむ会・尾瀬シリーズ」は、坐禅草、白根葵、日光キスゲ、沢キキョウ、あわてん坊のヒツジ草など沢山の花たちとの出会いで楽しい旅を重ねて参りましたが、最後は錦秋の尾瀬でシリーズの終章を飾ります。

講師はお馴染みの笠原最季雄先生。東京より沼山峠下までバスで直行いたします。一足早い秋をたのしみにご参加ください。

○期日 10月11日(水)～12日(木)

○定員 20名(申込先着順、定員になり次第第締切)

○参加費 約1万8千円(バス代、宿泊費、保険その他)

○申込 7月17日(月)までにワカバ会事務所にて電話で。

○行程 第一日 沼山峠下より徒歩約3km、尾瀬山荘泊。

第二日 尾瀬沼より三平峠經由大清水まで徒歩8km、

東京帰着は17時30分頃の前定。

○要項は参加者全員に配布いたします。

第三回 史蹟探訪の会

今回は海のある奈良といわれる若狹を訪ねる旅です。

遠い昔から今日まで大切に守られてきた寺々と仏像、大陸との交流や「お水送り」にまつわる伝説、日本海の幸は訪れる人を魅了します。講師は笠原最季雄先生です。関西方面にお住まいの方も是非ご参加下さい。

○期日 11月11日(土)～13日(月)

○定員 25名(申込先着順、定員になり次第第締切)

○参加費 約3万4千円(バス代、宿泊費、保険その他)

東京―京都間の往復運賃は自弁。

○申込 7月17日(月)までにワカバ会事務所にて電話で。

○京都より全行程バスを使用します。北山、常照皇寺、神宮寺

羽賀寺、三方五湖等十数箇所見学。解散は米原駅17時

頃の前定。

○要項は参加者全員に配布いたします。

編集後記

今年は編集メンバーが新しくなったということもあり、特別事務所の方々にはお世話になりました。ほんとうにありがとうございました。

新鮮な紙面を作るよう努力したつもりですが、いかがでしたか？ご意見・ご希望など、おきかせください。

尚、今号で使っていた山荘その他すてきなカットは委員の小針淳(40-3)が書きました。

今回も前回に引きつづき、山荘利用案内と軽井沢山荘周辺案内地図を別刷としました。

色を使ってさらに楽しいものとしたかったのでご利用ください。

校正、写真撮影、カット、文章を書くのが趣味の方、ぜひ一緒に「わかば」をつくりましょう。お待ちしております。

事務所だより

◇会費納入のお願い◇
本年度も未納会費、維持会費の納入にご協力下さい。

昭和六十年に従来の終身会費を全員の方向に完納していただき、その後は維持会費一口二千元を納めていただくように会費制度が改正されました。終身会費三千六百元が設けられた昭和四十年より会費の払い込みがなかった方は三千六百元、何年分か払い込まれた方はその金額を差引いて未納会費として、本年からはハガキでお知らせしています。未納会費のある方は出来るだけ早くご入金下さるようお願い致します。

◇住所変更届出の件について◇
氏名・住所・電話番号が変わった時は、ワカバ会事務所へ必ず連絡して下さい。

◇音信について◇

クラス会、同期会、クラブのOB会、同窓生の活躍などご存じのことは、ぜひワカバ会へお知らせ下さい。新設した「告知板」の欄も、どうぞ御利用下さい。

◇ワカバ会創立60周年記念誌◇

『わたしたちの昭和史』についてのお問合わせは、ワカバ会事務所までお申出ください。

◇お願い◇

ワカバ会事務所事務を執つて下さる若い方、いらっしゃいましたらご連絡下さい。

東京都立三田高等学校同窓会 社団法人 ワカバ会

▼ワカバ会の事務

時間 午前10時半―午後四時
休日 土曜日・日曜日・祝祭日

▼連絡先 〒108 港区三田一―四―四六

電話(〇三)四五―〇二二七
振替 東京 八―八―一七〇



—ワカバ会軽井沢山荘利用案内—

レイクニュータウン・からまつ通りの丘のうえ、
軽井沢山荘はワカバ会々員の皆さまの憩いの館で
す。

暑い夏の日、緑陰に涼をもとめて、ご家族やお友
達と一緒にお出かけになりませんか。クラス会・
同期会・家族旅行そのほか内々で気楽にたのしみた
い場合は貸切利用も可能です。

皆さまのご来荘をお待ちしております。

◆開荘期間 7月15日(土)～9月30日(土)

◆利用料金 (1泊2食付・消費税非課税)

大人……5400円 (7月及び9月)

大人……5900円 (8月)

小人……4000円 (4歳～小学6年生)

幼児……2500円 (1歳～3歳)

乳児……無料

☆貸切利用 (原則として土、日は不可)

7月及び9月…20名以上または20名未満でも

108,000円払込まれた場合

8月…25名以上または25名未満でも

147,500円払込まれた場合

何れの場合も全館貸切でご利用になれます。

◆利用時間

チェックイン PM 3:00

チェックアウト AM 10:00

山荘の予約申込、催物の参加申込その他山荘に関
するお問合わせはワカバ会事務所へお電話くだ
さい。

◎予約、催物の参加申込は5月1日(月)より受付
けます。(10名以上での申込は常時受付)

◎飲物、昼食、お弁当等はご希望に応じま
す。

ワカバ会事務所 03-451-0227

(月～金10時30分より16時まで)
(土、日、祝祭日は休み)

第6回

<親睦ゴルフコンペ>

親睦ゴルフコンペは、第六から三田まで、男女幅広い
方々でおたのしみ頂いております。

腕に自信の有無は問いませので、今年はあなたも思
い切って参加なさってみませんか。

お申込みをお待ちしております。

◦期 日 7月29日(土)～30日(日)

◦場 所 軽井沢72ゴルフ・東コース

集 合 7月29日 AM 9:00 東コー
スクラブハウスフロント前

スタート AM 9:30 (雨天決行)

プレー方式 ワンラウンドキャロウェイ方式

◦定 員 8組32名 (受付順)

◦参加費 36,000円 (申込金5400円)

第4回

<山荘セミナー「ヨガ」>

より多くの方に「ヨガ」を楽しんで頂くための企画で
す。講師は千葉紘子さん (元宝塚スター・汐風享子さん)。
やさしいご指導で昨年も好評でした。皆さまお誘い合
わせでは是非ご参加下さい。

◦期 日 7月16日(日)～17日(月)

◦定 員 25名 (受付順)

◦参加費 6400円 (申込金5400円)

◦講 習 16日午後4時より

17日午前7時より

◦要項は参加者全員に配布いたします。

<コーラスのつどい>

今年も加藤恭二子先生のご指導でコーラスをたのしみ
ます。日本語を美しく歌うコーラスです。

ひと夜、たっぷりと歌うたのしみを持てるのも山荘の
つどいならではの……です。ピアノも備えました。奮っ
てご参加ください。

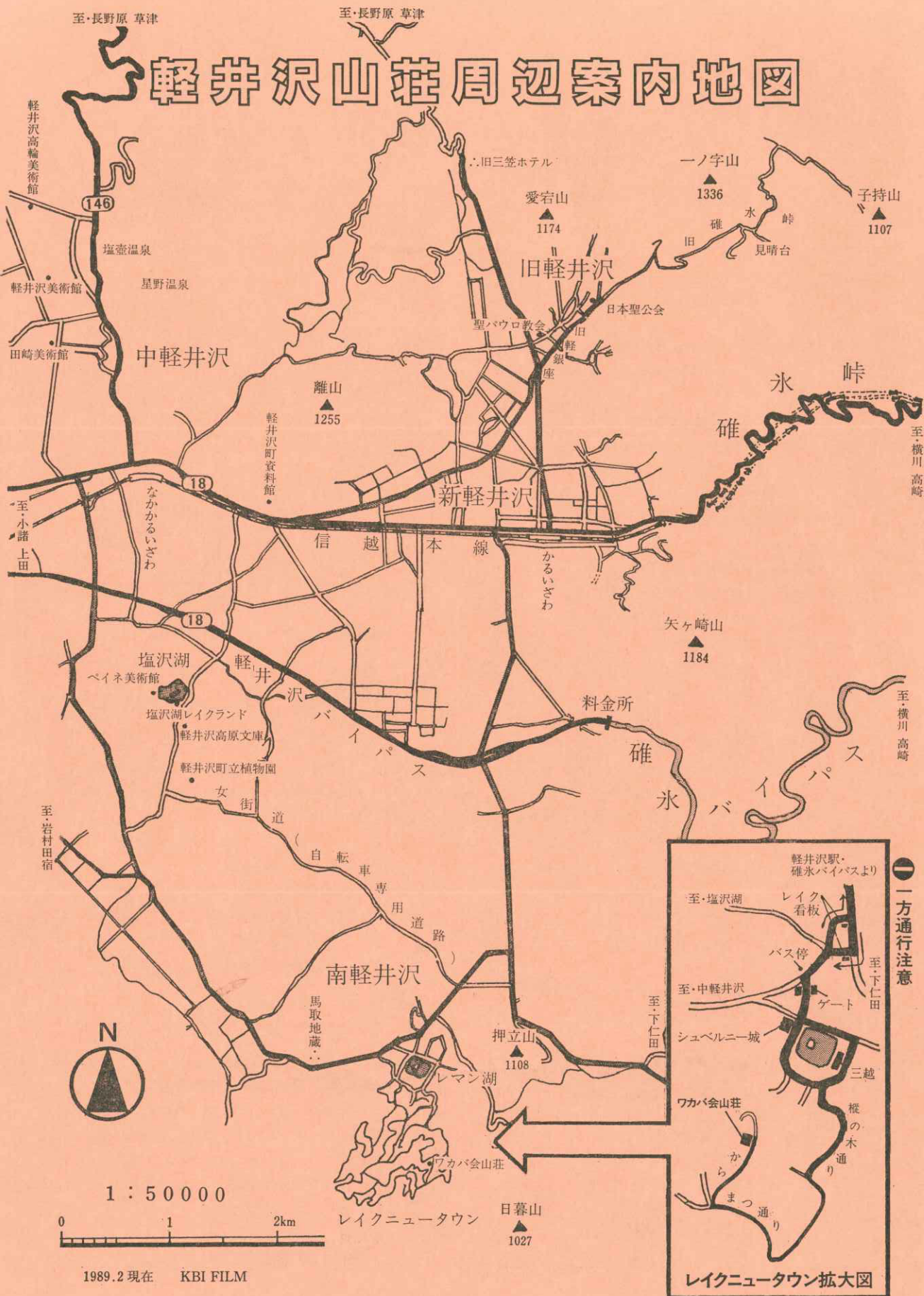
◦期 日 9月8日(金)～9日(土)

◦定 員 25名 (受付順)

◦参加費 6400円 (申込金5400円)

◦要項は参加者全員に配布いたします。

輕井沢山莊周邊案内地圖



● 一方通行注意

レイクニュータウン拡大図